

一般社団法人日本調理科学会 2024 年度 第 4 回理事会 議事録

日 時:2025 年 1 月 25 日(土) 10:00~11:55

場 所:オンライン開催

出席者:真部真里子会長,阿久澤さゆり筆頭副会長,高村仁知副会長,藤井恵子副会長,大野智子,
柳沢幸江,飯田文子,杉山久仁子,時友裕紀子,名倉秀子,山になつみ,平島円,村上恵,
安藤真美,久保加織,杉山寿美,高橋啓子,田原美和,篠原久枝,長嶺清司,三神彩子,
宮藤章(以上理事 22 名) 新井映子,平尾和子(以上監事 2 名)

欠席者:高山裕子,三宅裕子(以上理事 2 名)

本日の理事会は,定款第 33 条理事の過半数の出席(理事 24 名中出席 22 名,欠席 2 名)を満たし成立。

【配信資料】

資料 1:一般社団法人日本調理科学会 2024 年度第 3 回理事会議事録(案)

資料 2:(一社)日本調理科学会 2024 年度第 4 回理事会報告資料-編集委員会-

資料 3:(一社)日本調理科学会 2024 年度第 4 回理事会報告資料 情報管理委員会

資料 4:刊行委員会からのお知らせ

資料 5:災害時のメニュー開発に関する研究委員会の活動報告(案)

資料 6:特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会報告

資料 6(参考資料):論文掲載による掲載料の支援申請書

資料 7:創立 60 周年記念事業「調理科学の百科事典」について

資料 8:(一社)日本調理科学会 2024 年度大会第 7 回「若手研究者発表奨励賞」受賞者発表

資料 9:第 79 回日本栄養・食糧学会大会における共催

資料 10:全国家庭科教育協会主催食生活研修会における共催のお願い

資料 11:2025 年度事業計画(案)

資料 12:2025 年度収支予算(案)

資料 13:2025 年度代議員総会開催に向けて

資料 14:講演会のお知らせ(案)

資料 15:投稿規程の見直し(令和 7 年 1 月 25 日改正,令和 7 年 4 月 1 日施行)

資料 16:(一社)日本調理科学会 2024 年度大会決算

資料 17:(一社)日本調理科学会 2025 年度大会概要

資料 17-2(追加資料):(一社)日本調理科学会 2025 年度大会のご案内と研究発表募集

資料 18:日本調理科学会ジュニア会員新設について

回収資料:新入会員(2024 年 9 月 1 日~2025 年 1 月 24 日入会申込者)

1. 議長,議事録作成人,署名人選出

慣例に従い,議長は真部会長,議事録作成人は杉山庶務担当理事,議事録署名人は真部会長,阿久澤筆頭副会長,新井監事,平尾監事とする。

2. 前回議事録(案)確認

2024 年度第 3 回理事会議事録(案)(資料 1)を確認の上,了承した。万が一修正等ある場合は事務局早川氏へ連絡する。

3. 議事

【報告事項】

(1)業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

真部会長より,前回理事会以降の会長の職務を執行してきたとの報告があった。阿久澤筆頭副会長より会長補佐および庶務・企画・広報担当として,高村副会長より会長補佐および情報管理・会計担当として,藤井副会長より会長補佐および編集担当として職務を執行してきたことが報告された。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会

藤井副会長より、資料 2 に基づき論文審査状況(2025 年 1 月 20 日現在)について昨年度の同時期とほぼ同様である旨報告があった。

2) 情報管理委員会

高村副会長より、資料 3 に基づきホームページ管理(HP の暗号化対応済み, HP リニューアルは対応中), メール・ニュース発行(2024 年 9 月 2 日以降6件), 転載許可の申請対応に関する報告があった。

(3) 特別委員会からの報告の件

1) 刊行委員会

香西委員長に代わり、真部会長より次のとおり報告があった。

本学会は、創立 40 周年記念事業の一環として、建帛社よりクッカリサイエンスを刊行している。刊行数の増加に向けて、出版に関する相談窓口について学会誌57 巻 6 号で周知する予定であったが、資料 4 の内容を学会誌58巻 1 号に掲載することに変更したことが報告された。

2) 創立 50 周年記念出版委員会

「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」の成果について、農文協が運営するルール電子図書館への公開作業が完了したことが報告された。学会誌58巻 3 号でこの件に関する情報提供を行う予定であり、その際に簡単なコメントを依頼することがあれば協力してほしいとの依頼があった。

2024 年度の印税収入として、書籍版 35,574 円、電子書籍 69,918 円、ルール電子図書館 51,673 円(2024 年度分)、さらにルール電子図書館については 2023 年度分 56,322 円も含め、合計 213,487 円が支払われることが報告された。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 災害時のメニュー開発に関する研究委員会

阿久澤筆頭副会長より、資料 5 に基づき活動内容及び今後の課題について報告された。

2) 特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会

綾部委員長に代わり、名倉委員より資料 6 に基づき報告された。投稿論文の掲載料金の補助申請については、著者が申請書類(参考資料)を使用して企画委員会に申請し、投稿論文の採択連絡後に企画委員会から事務局へ書類を提出することとしていること、投稿論文が2件あるが、2024 年度内の掲載にはならない予定であること、2025 年度大会における発表は実験 10 件、調査 15 件であるが、1, 2 件増えるかもしれないことが報告された。増えた場合には、綾部委員長から東海・北陸支部長山中理事に連絡することが確認された。

さらに、真部会長より、前回理事会の資料において論文掲載料の支援については、2025 年 3 月 31 日までに投稿したものとなっている点について確認して欲しいとの指摘があり、変更の必要がある場合には理事会で審議する必要があることが確認された。

(5) 創立 60 周年記念事業「調理科学の百科事典」の件

真部会長より、資料7に基づき進捗状況と予定について報告された。

(6) 2024 年若手研究者発表奨励賞の件

阿久澤副会長より、資料 8 に基づき 2024 年度若手研究者発表奨励賞の受賞者について報告された。学会誌 57 巻 6 号に掲載済み。

(7) インパクトファクター付与の件

阿久澤副会長より経過報告がされた。学会誌のインパクトファクター取得について、東京農業大学の棚橋桂子教授に相談中であり、取得できる方向であるとの意見をいただいている。

(8) 共催事業の件

真部会長より、過去に共催したものは自動的に共催を認め、新規については会長判断としているので、会長、事務局に連絡してほしいとの共催手続きに関する説明があった。

その後、新規で共催するものとして、東海・北陸支部長山中理事より、資料 9 に基づいて日本栄養・食糧学会大会におけるシンポジウムの共催、真部会長より、資料 10 に基づいて全国家庭科教育協会主催食生活研修会の共催が報告され確認をした。

(9) その他

阿久澤副会長より、(4) 1) 災害時のメニュー開発に関する研究委員会でも報告を行ったが、災害時メニュー開発の活動資金確保のために、公益財団法人浦上食品・食文化振興財団の助成金に応募したが採択に至らなかった。関連する助成金情報があれば教えてほしいとの依頼があった。

【審議事項】

(1) 新入会員承認の件

真部会長より、回収資料に基づき 2024 年 9 月 1 日から 2025 年 1 月 22 日入会申込者(正会員 8 名, 学生会員 5 名)について説明があり、確認の上承認された。

(2) 2025 年度事業計画(案)・予算(案)の件

真部会長より、資料 11 に基づき 2025 年度事業計画(案)が提案された。代議員総会の日程は日本家政学会大会の日程との調整で 6 月 8 日としたこと、資料の 1 の(5)の日程を「6 月 1 日(日)」から「6 月 8 日(日)」に修正する必要があること、2025 年度は選挙を実施すること、資料の 2 以降については例年通りであることの説明があり、承認された。

高村副会長より、資料 12 に基づき 2025 年度収支予算(案)が提案された。2024 年度予算額から増減のある部分について説明が行われた。会員数の減少によって会費収入が減っていること、学会誌の印刷・製本費が増額していること、研究委員会費は増額していること、通信費は事務局の PC に入れるアプリケーションソフト代であること、150 万円の赤字であること、今後赤字解消のための検討が必要であることなどを確認し、予算案は承認された。

(3) 2025 年度代議員総会等の件

1) 第 1 回理事会の開催の件

真部会長より、次項 2) 代議員総会開催の件と合わせて審議する旨の提案で、事項 2) 代議員総会開催の件と合わせて議事が進められた。

2) 代議員総会開催の件

高村副会長より、資料 13 に基づき監査後第 1 回理事会開催することならびに代議員総会の開催方法及び議案について提案され承認された。

3) 講演会の件

阿久澤副会長より、資料 14 に基づき代議員総会同日に開催される講演会の内容等について提案され承認された。

(4) 日本調理科学会誌投稿規程の改正の件

藤井副会長より、資料 15 に基づき投稿規程の改正案について提案された。資料の中には前回理事会で審議・承認された内容を含んでいること、今回利益相反について細則に追加したこと、投稿規程とその細則において表記が異なっている部分を統一することが説明された。さらに、規程及び細則に関する改廃に関する記述が無かったことから、当日提示資料に基づき規程の改廃に関する説明を「11. その他」の後に「本規定の改廃は、理事会の承認を得なければならない。」、細則の改廃に関する説明を「付則」の後に「本細則の改廃は、委員会の議を経て理事会に報告する。」と追記することが提案され、承認された。

(5) 2024 年度大会決算及び余剰金の件

藤井副会長(大会実行委員長)より、資料 16②に基づき大会決算が説明された。参加者正会員 361 名, 学生 56 名, 非会員 69 名, 非会員学生 35 名で合計 521 名であったこと、本部と支部からの大会準備金をそれぞれ返還し、余剰金 1,598,778 円となった。審議・確認後、承認された。

(6) 2025 年度大会の件

東海・北陸支部長山中理事より、資料 17 に基づき 2025 年度大会について説明された。日程とテーマは前回の理事会で確認済みのため、プログラム(シンポジウム, 学術講演会)の内容、学術交流会費を値上げすること、ランチョンセミナ

ーを1講座 100 名で1日 2 件, 計4件実施する予定であること, それに伴い一般参加者向けのお弁当販売を実施しないこと等が提案され, 承認された。お弁当販売については参加者への周知に配慮すること, また, 来賓等の昼食については改めて学会事務局と相談することが確認された。また, 科研費の申請はできなかったことが報告された。

さらに, 資料 17-2 に基づき研究発表募集の内容について説明され, 細かな部分の表記については実行委員会に任せることとして承認された。

(7) 2026 年度大会の件

近畿支部長村上理事より, 2026 年 9 月 1 日・2 日(平日開催)に, 同志社女子大学今出川キャンパスを会場として 2026 年度大会を開催予定であることが提案され承認された。

(8) 2025 年度学会賞選考委員会の件

真部会長より, 2025 年度学会賞選考委員会として, 選考委員長は阿久澤筆頭副会長, 選考委員は庶務担当理事とする提案があり承認された。

(9) SNS 利用開始の件

高村副会長より, 学会からの情報発信を HP とメールで行ってきたが, より速く会員に情報を伝えるために X(旧ツイッター)を使用することが提案され承認された。アカウントを事務局と理事, 大会実行委員会など関係者と共有する。具体的なことは今後の理事会で提案する。

(10) ジュニア会員の件

真部会長より, 資料 18 に基づきジュニア会員の内容に関する提案が行われ, 承認された。内容は日本家政学会の内容に準じている。今後ジュニア会員に関する規程を作成し, 次回の理事会で提案する。

東海・北陸支部長山中理事より, 大会の際に近隣の家政系の専門学科のある高校に声をかけて高校生の大会参加を促すことを検討中であるが, 非会員の高校生も大会参加費を無料としてよいかという質問があった。意見交換した結果, ジュニア会員も非会員の高校生(引率教員1名)も大会参加費は無料とし, 大会当日にジュニア会員の申込があった場合には「仮入会」として扱い, 後日の理事会で「入会」を正式に確認することとした。

(11) その他

生活科学系コンソーシアム連絡担当の飯田理事より, 生活科学系コンソーシアムの博士課程論文発表会(2025 年 3 月 28 日, オンライン)の発表申込期限が 2 月 3 日であり, まだ発表者枠に余裕があるので博士課程の学生指導をされている方は検討してほしいとの依頼があった。

【その他】

(1) 各種支部報告(2024 年度事業報告・決算, 2025 年度事業計画・予算)の提出の件

真部会長より, 3 月 31 日までに各種支部報告を提出するように依頼された。

(2) 学会賞候補, 奨励賞候補, 功労賞候補の推薦の件

阿久澤副会長より, 57 巻 6 号に掲載されている学会賞等候補者の推薦(3 月 31 日締め切り)が依頼された。

(3) 次回理事会の件

真部会長より, 次回理事会は 2025 年4月の監査終了後, 5月上旬までの間にオンラインで開催する予定であることが説明された。

議事録署名人

会長 真部 真里子

筆頭副会長 阿久澤 さゆり

監事 新井 映子

監事 平尾 和子